

藤岡市



# 議会だより

発行日 平成 19 年 2 月 15 日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 株式会社エスエイ印刷  
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第37号



## 鬼恋節分祭

平成4年2月3日に第1回を開催し、今年で第15回目になります。鬼石の地名をちなみ、節分で追い出された全国の鬼を呼び入れる「鬼は内、福は内」とユニークな声を上げる祭りです。

12月定例会の  
あらまし

定例会は、12月6日から12月15日までの10日間の会期で開催されました。

平成18年度藤岡市一般会計歳入歳出補正予算についてなど26議案が提出されました。

6日〃本会議 会期の決定。議案23件を上程、うち20議案を即決。

7日〃教務厚生常任委員会。

12・13日〃本会議 一般質問。

15日〃本会議 委員会付託議案3件を可決。

議員提出議案3件を即決。

# 一般質問

三好 徹明

## 公立藤岡総合病院

について

**問** 今後の長期展望と経営方針について伺います。

**答** ここ数年は、非常に厳しい経営状況下にありましたが、現在では病院長を中心とした改善や改革も進み、経営の安定が図れつつあります。今後も経営の安定を目指し、平均在院日数の短縮、電子カルテ化、医師確保、救急、小児、周産期医療などの充実を図り、良質の医療を効率的に提供して、地域に愛され、信頼される自治体病院として、整備していきたいと思えます。



入札について

**問** 多くの工事が高値落札で推移している結果、競争原理が機能せず、コスト効果がないと思われるが、今までにどのような対策や工夫を講じて、どのような効果があったか伺います。

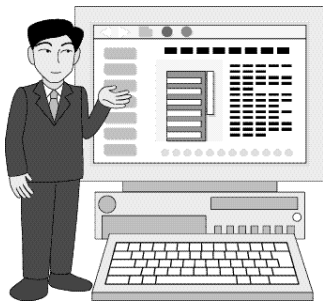
**答** 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律を踏まえ、予定価格の事前公表、郵便入札の実施、指名業者名、検査評価点、指名理由等の公表、指名業者の事後公表、業者主観評価の導入など入札制度改革に取り組んでおります。しかしながら、入札結果を検証しますと、高値落札が改善されていないのが実情です。今後、一般競争入札の導入を視野にいれ、検討していきたいと考えております。

**問** 談合対策のひとつとして、藤岡市のホームページに分かりやすく各業者の落札率

などを併記するよう以前より指摘してきたが対応を伺いたい。  
**答** 入札の一層の透明性を図るべく、平成19年度より議員ご指摘通り、個々に応札率などを藤岡市のホームページに公表していきたいと思えます。

**問** 専門職の異動、配置転換を3年を目安に行なってはどうか伺います。

**答** 義務を遂行する上で不信感を持たれることのないよう、一定の期間を目安に異動又は配置転換を行っていききたいと考えております。



橋本 新一

## 地球温暖化防止に対する市の考え方について

**問** 地球温暖化防止について伺いたい。

**答** 藤岡市としては使い捨て社会から脱却し、循環型社会の形成が必要と考えており、市の事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組んでいく行動指針として、今年度を基準年度とし、来年6月1日を策定日の目途に準備をしている。その内容は、目標年度を平成23年度とし、対象期間を平成19年度から5年間とする。対象ガスは二酸化炭素、フロン等で、対象範囲は藤岡市が実施する事務及び事業で排出される温室効果ガスとする。取り組み内容は、空調の適温化を図る、クールビズ、ウォームビズの推進、照明点灯の適正化、省エネルギー機器の導入、公用車使用の適正化やクリーンエネルギー自動車導入などを考えている。

**問** 地球温暖化防止には、森林の整備が不可欠と言われているが、藤岡市の市有林整備について伺いたい。

**答** 平成19年度から立地条件の良い市有林から伐採を行ない、少しでも森林整備が進むよう長期育成循環施事業並びに間伐促進対策事業等を活用し、整備を進めたいと考えています。



## 文化財収蔵庫について

**問** 文化財収蔵庫のひび割れの原因について伺いたい。

**答** 大きくはコンクリートの物性の乾燥収縮による影響ではないかと考えられる。

**問** コンクリートの性質上、ひび割れは不可抗力的なもので設計、施工、管理、監督に何ら責任はないということなのか伺いたい。

**答** ひび割れという現象が起きていることから、全部が不可抗力といつことではなく、設計監理、請負業者にも何らかの責任はあると思うが、個々の責任所在を問うまでに至らなかったといつこととあります。

### 滞納整理対策

#### について

**問** 市税は担税力のある者に対し課税されるものであり、滞納は許されるべきものではありません。滞納が許されるとすれば、公平の原則に反することになります。藤岡市の市税収納状況を見て、平成17年度末で2億1100万円の不能欠損をしたにもかかわらず、約12億円にも上る滞納税額がある。これを減少するための強力な施策・対策はないのか伺います。

**答** 滞納を無くすための強力な施策・対策はなかなか見いだせません。今後は様々な施策・対策を研究し、収納対策にあたってまいります。

**問** 前橋市は、滞納対策として、保険外交員の経験者を嘱託採用して、収納率が大幅に向上している。また、他県では、県下の市町村全部、また一部が既存の組合や新たな組合を設立して、滞納整理機構を設立し、滞納整理に当たっている。このような事例を行

う考えはないか伺います。  
**答** 調査、研究を進めていきたいと考えています。



### 子供の健全育成

#### について

なしつけを知らずに成長し、今や、親や教師となっている。親から伝承されなかったしつけを子供たちに行うことが出来ないという、基本的な問題があります。きちんとしたしつけが地域全体で出来るように、しつけの指導書を作り、学校や家庭に配布すべきであると考えますが、配布する考えはないか伺います。

**答** 学校・地域が一体となつて、しつけを意識した子供たちの健全育成を推進して行きたいと考えています。

**問** 子供のしつけでありませんが、戦後の荒廃期に育った子供たちが今、お父さん、お母さんになり、先生になっていきます。この年齢層の人たちが十分にしつけられて育っていたかと言えば、そうとは言えません。終戦を境として物の見方・考え方が一変したために、当時の親は自信を持てしつけをすることができなかった。その子供たちが十分



### 学校における諸問題

#### について

**問** 基礎学力向上の為に、太田市等では、教育支援隊事業等、市費で補助教員を採用し成果をあげている。授業についていけないと学習に興味をなくしたり、いじめや非行を起こす要因にもなる。基礎学力をしっかりと身につけるため、具体的な対策はどのようなものか伺いたい。

**答** 基礎学力をしっかりと身につけるために、多くの教職員が児童・生徒とかわり、きめ細やかな指導をすることが有効な方策と考えられる。県の施策として、教員の増員も図られているが、各学校の多様な実態と要望にこたえるためには、県の人的配置では十分とは言えず、各学校の自助努力でカバーしているのが現状である。教育は人であること認識しており、格差社会が危惧される中で、子供たちの教育条件だけは他市に劣らないよう整備していきたいと考えている。また、マイタウンティーチャーの任用も考えていきたい。

### 子育て支援について

**問** 少子化対策の一環として、子育て支援センター事業の取り組みについて伺いたい。

**答** 子育て支援センターの事業については、私立5ヶ所、公立1ヶ所の保育園に併設し実施している。平成17年度の実績では延べ、2万5298人が利用しており、子育てで親子の交流の場として、子育てに関する情報提供を行っている。平成18年度の民間保育園とは年間1ヶ所650万円で委託契約を結び運営を行っている。

**問** 現在、公立と私立で連携しながら子育て支援センターを開所している保育園もあり、利用できるかと好評である。現在6ヶ所の子育て支援センターだけでなく拡充をすることを考えていないか伺いたい。

**答** 拡充については利用状況や設置場所の地域的なバランス等を踏まえながら、スタッフ、事業内容など調整が可能かどうか、これらを調査し実施する方向で進めていきたい。

### 北藤岡駅周辺 について

**問** 区画整理事業地区25・2ヘクタール以外の、今後の対策について伺います。

**答** 特に学校周辺の通学路の危険箇所や道路の沿道土地利用状況、交通利用状況を含め、事業の効率性等を考慮し、要望事業調整会議に付議し、道路の改良等をやっていききたい。また、建築行為等にかかわる狭隘道路、いわゆる道路の後退線の幅整備を促進しているわけですから、そのような制度も利用して、安全で良好な市街地の形成と居住環境の整備を図っていきたくと考えております。雨水対策につきましては、緊急性を要する、または浸水被害等が勃発する箇所については、周りの地形状況等を考慮しながら、早目に整備をしていききたい。また、排水、側溝等の維持管理についても、区長及び地元関係者の協力を得ながら、側溝清掃及び維持、修繕等を含めて進めていきたくと思っております。次に北藤岡駅西側の第一、拾式踏切ですが、現在JRと公安委員会と

の事前協議は終了しました。今後は、地元関係者、警察、それと特にJRと事前調査を進めながら、実施計画の中で進めていきたいと考えております。踏切の改修につきましては、地元の切なる要望、また私どもにとっても重要な事業と認識しております。実施時期につきましては、関東地区踏切道調整連絡会議の中で藤岡市は、平成22・23年の2ヶ年で事業を実施していきたくと表明しております。

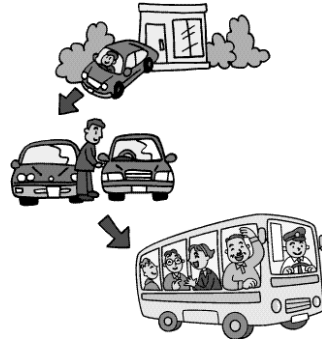


### 道の駅ららん藤岡の 施設整備について

**問** ららん藤岡の有料駐車場の拡張について伺います。

**答** 春や秋の観光シーズンには、バスツアーの利用者が増加し、有料駐車場に駐車出来ないお客様の対応に苦慮しているところ

であります。有料駐車場の拡張を行う場合には、関係機関との調整など幾つか課題がありますが、十分協議し、拡張する方向で進めたいと考えています。



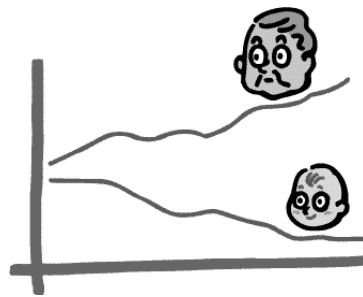
茂木 光雄

### 財政について

**問** 財政健全化計画と市民生活への影響について伺います。

**答** 財政調整基金残高の確保を図り、持続可能な財政基盤の確立を目標とし、集中改革プランにおいて、地方債借入れの抑制や経常経費の削減、また、公債費比率や経常収支比率の具体的な目標値はないが、自主財

源を確保するための各種取り組みを計上し、改善に取り組んでいく考えである。下水道料金は平成20年度を目標に20%ぐらいの値上げを考えている。また、介護保険料については、お年寄りが増えますので確実に増えるかとしかお答えできません。



### 都市計画について

**問** 住民増に向けた市の取り組みについて伺います。

**答** 都市計画法第34条第1項第8号の3により、市街化調整区域内での自己用住宅の立地を認める基準の条例を定めています。群馬県は制定していません。群馬県は制定していませんので事務処理市として藤岡市が条例を制定する場合は、市街化

区域と市街化調整区域のあり方、農業のあり方とか検討し、県の審査会に諮らなければなりません。スケジュール的には平成18年度から都市計画基礎調査を始めて、県の開発審査会との協議などを行い、平成21年度に条例の制定になるかと思っております。都市建設部としては、平成19年4月1日に市街化調整区域の開発権限委譲後、大規模指定既存集落の指定を行って、その後、条例の制定という2段階でいきたくと考えております。



石井 竹則

### 合併特例債について

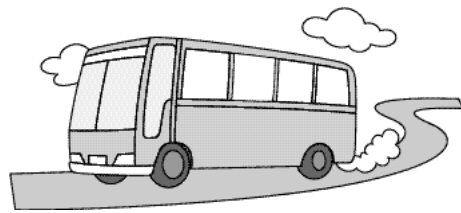
**問** 小・中学校の耐震補強及び大規模改修について、将来を見据えた規模の設計を行い、建てかえるなど、総合的な判断のもとに実施する考えがあるか伺います。

**答** 耐震診断結果によっては、建てかえ等も考慮する必要がありますが、各学校の実情に感じ総合的に検討し、事業を行ってみたい。

**問** 合併特例債の活用は、市民が合併効果を実感できる事業が望まれる。新市における一体性の確保、均衡ある発展の面からも周遊ルートの整備と併せ、幹線道路との連結や市内の狭い道路を整備し、市民の利便性や防災上の安全を図る事、また、周辺市町村との連携を視野に総合的に道路ネットワーク構築を進める必要もありませんが見解を伺います。

**答** 藤岡市の現状として、幹線道路、生活道路などの全般的な道路整備は必要性を感じます。また、高速道路交通の要所

に位置する特性を生かすための道路ネットワーク整備も重要な課題です。財政状況を考慮しながら検討していきたい。



清水 保三

### 市営住宅について

**問** 市営住宅のカビがあまりにひどいので、子供たちにとってどんな影響が出るか本当に心配です。建物の構造上の問題ではないのか。この事でどこへ連絡しても、取り上げてくれる人がいなく困っているとの手紙がありました。指導や対処をしてほしいと思うが伺いたい。

**答** 北側に面した外壁の内側に、結露による湿気が原因でカ

ビが発生しています。洗濯物を室内に干すと、湿度が10%上昇します。カビの発生を抑えるには、室内の水分や湿気をコントロールすることが基本であり、換気をこまめにし、室内の湿気を排除し、カビの発生を防止するよう、入居者をお願いしています。

### 集中改革プランについて

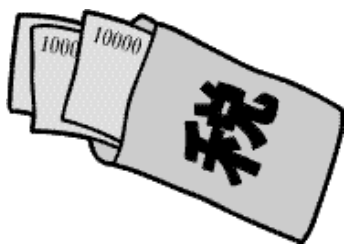
**問** 私たちは住民福祉の充実を第一の目的とする市政を強く求めています。しかし、集中改革プランでは、住民福祉を削り、市民に負担を強いるものになっています。特に、国民健康保険税では14、6%の大幅な値上げです。被保険者にとつては耐えられるものではないと思います。私たちの市民アンケート調査では、国民健康保険税の減免が40%、介護保険料や利用料減免も40%でした。市民福祉の充実を求めています。

**答** 国民健康保険税の値上げ案では一世帯平均ですが2万2800円の引き上げです。市民は怒っています。次に敬老祝金の見直し、わずか

なお金でもお年寄りには楽しみに待っています。また、市営霊柩車も308件の利用者がいるのですから、廃止すべきではありません。

**問** 民間保育所運営費の人員費分のカット、私立幼稚園運営費のカット、また、原水禁運動の補助金を廃止すべきではありません。それから、集中改革プランの内容を市民に知らせる必要があると思うが、これで十分と考えているのか伺いたい。

**答** パブリックコメントだけでは、行政改革の内容が十分に市民に伝わっているとは言いがたない状況もあつたものと思っております。今後いろいろな機会を通じて市民へ説明し、行政改革を進めていきたい。



岩崎 和則

### 地上デジタル放送について

**問** 難視聴地域、高山、日野、鬼石、各地区のテレビ共聴組合において、2011年までに受信環境がどの程度整うのか、また、難視聴地域のテレビ共聴組合、住民に対する国及び市の支援、対策、弱者への指導、支援、対策はあるのか伺いたい。

**答** 鬼石共聴組合1200世帯は、デジタル新局が2008年には開局される予定であり、アンテナを設置すればテレビを視聴することができます。また、NHK共聴施設は、改修を必要とされるものがあり、受信点でのチューナー等を設置する場合も起きると考えられる。費用等については、藤岡市テレビ難視聴地域解消事業補助金要綱に基づき、日野地区の岡本・芝平共聴組合、7区テレビ共聴組合が、施設の改修を実施し、交付している。デジタル化についてもこの要綱の目的に沿い、弱者への対応等含め要綱の改正等も視野に入れ検討していきたい。

### 地方分権時代の行政運営について

**問** 行政運営をしていく上での様々な情報は、原則として、これは市民のものと思いますが、その認識があるか伺います。

**答** 行政も議会も市民も、すべて共有しているという認識です。

**問** 市民の意志を確実に把握する方法、この究極の方法は何と考えるか伺います。

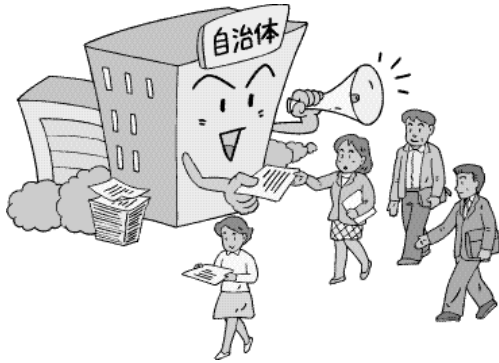
**答** 選挙が、そういった意味では市民の考え方が反映されると思います。

**問** 私も市民の考え方を確実に把握するのは、住民による投票と思いますが、住民投票条例を制定する考えがあるか伺います。

**答** 先進地の事例を調査していきたい。資料を取り寄せた中で、研究してみたいと思っています。

**問** 市民参加のルールをつくる考えがあるか伺います。

**答** 政策の過程の中で情報を共有し、市民参加のルールの条例を整備することも要点と考えます。



### 若者定住対策について

**問** 旧鬼石町での若者定住対策事業の実績と評価を伺います。

**答** 宅地分譲事業20区画、町有林産材の無償交付事業69件のうち、町外申し込みが21件、30%あり、転入されて来たという事になります。住宅新築等資金利子補給事業70人、住宅新築促進奨励事業92人とそれぞれ効果があつたと考えます。

**問** 若者定住対策促進基金が7100万円ほど残るが、企業誘致との抱き合わせや、二世帯住宅新築の方法等、知恵を出し有効に活用し、生産者人口を呼び込み、税収の増加を図るべきだか伺います。

**答** 旧鬼石町での事業は、合併協議会で廃止となつていますが、藤岡市の将来を見据えた実施計画の中で検討していきたい。



### 会計制度改革について

**問** 平成18年8月、総務省は地方公会計改革（資産債務管理改革）として、バランスシート、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4表を、3年以内に整備するよう求めています。どの様に取り組んで行くのか伺います。

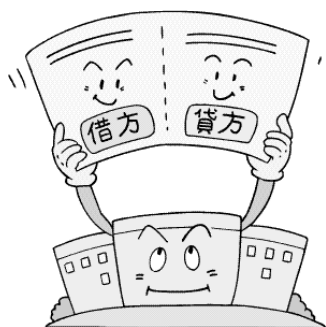
**答** 国や各地方公共団体の動向に注視しつつ研究を進めていきます。

**問** 総務省は、自治体に関わる一部事務組合等を含めた連結バランスシートの作成を求めています。藤岡市はここまでの範囲で連結できるのか伺います。

**答** 一般会計 12特別会計 土地開発公社、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合、多野藤岡医療事務市町村組合、藤岡吉井環境衛生事務組合、藤岡市文化振興事業団、株式会社藤岡クロスパークが対象となります。

**問** 藤岡市全体の財政状況がわかる連結バランスシートを作成すべきだか伺います。

**答** 地方分権改革や行政改革の潮流の中で、住民に対し説明責任を一層果たすと共に、行政運営に経営の視点を確立することが不可欠と考えています。財務4表の作成の中で連結した4表ができるよう検討、研究を進めたい。



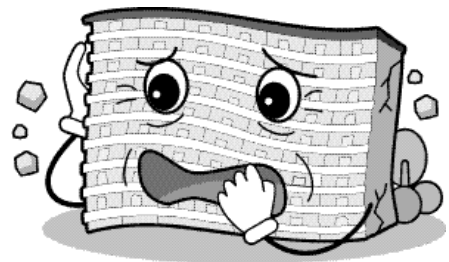
### 防災・防犯について

**問** 災害時等において、避難誘導の対策や避難場所の現状と能力について伺いたい。

**答** 現在、自主防災組織を70地区が組織している。今後は、災害弱者の把握、避難救助体制の確保、避難誘導等、集団的に行動をとることを目的に、自主防災組織を充実させることが必要と考える。避難場所については、93行政区に対して43ヶ所を指定、内訳は学校、公民館、公会堂、公共施設となっているが、学校については耐震基準に満たないところもある。

**問** 学校施設の耐震改修状況は、平成18年4月現在で、群馬県内38市町村の中で藤岡市は31番目と遅れているが、その理由を伺いたい。

**答** 市の役割として、避難した市民を安全に守るといふのは当然の使命だが、藤岡市においても、いろいろ諸般の事情があり現状に至っている。



### 産業振興について

**問** 企業のPR等は、企業努力によるものという考えもあるが、地域の発展や税収を見込むという観点からすれば、行政もアドバイスや力添えをすることも必要と思うが、考えを伺いたい。

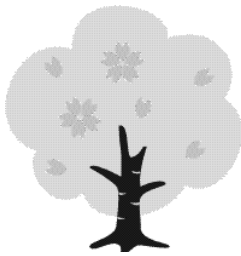
**答** 基幹産業の進出によって税収の増加、雇用の確保など直接的な効果もある。また、企業間の連携、交流等、地域の産業と結びつけた企業誘致を率先して行っていきたい。

**問** 観光振興について、今後どのように取組んでいくのか伺いたい。

**答** 鬼石町との合併により、桜山公園、神流湖、三波石峡など、新たな観光資源が加わった。これらを含め、周遊ルート化し、県内外から観光客が集まれば消費も生まれ、経済波及効果が期待されると考える。

**問** 桜山公園での、県植樹祭と100周年記念事業について伺いたい。

**答** 第61回群馬県植樹祭が、平成19年5月19日に開催される。県内より約1200人の方の参加を予定。100周年記念事業では、公園拡充用地の取得調査、記念式典及び記念誌等の発行を考えている。



### 藤岡高等学校校跡地 取得について

**問** 新高校に係る用地買収費及び造成費と、藤岡高等学校校跡地買収金額が連動している事を認めるか。財政難の折、なぜ、全面積買取りに政策変更するのか。また、買切れない土地は群馬県教育委員会より無償貸与を受けられるのか伺いたい。

**答** 当該金額で買収し得ない分の面積は無償貸与とした以前の説明は変わらないが、限度額で全面積を取得した方が将来的に良いと考える。

**問** 水路や道路の付替え工事費はどちらの負担か。また、造成の盛土は県事業の土木工事や建設事業の廃土や残土で済むものまで市は造成費とし負担するのか伺いたい。

**答** 付替え工事は機能補償であり、宅地化の為に造成費とみなします。藤岡高等学校校跡地取得は小さな数値での買収に粘り強く努力している。

**問** 福祉施設として土地利用ができるか伺いたい。

**答** 教育施設として考えている。それに具合う駐車場が必要。広場は多目的広場として活用する。また、福祉施設として有効利用できるか、今後の課題として研究したい。





松本 啓太郎

### 小・中学校の通学路 について

**問** 通学時間帯に一部道路の通行止め、迂回路を設けることができるか伺います。

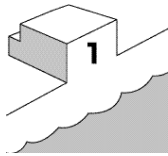
**答** 時間帯規制については、道路交通法に基づき群馬県公安委員会が設置していますが、規制要望については、窓口であります藤岡警察署交通課へ要望することになっております。その要望資料としては、生活道路を使用している規制要望箇所、近隣全世帯及び規制内の事業所に通勤する人等の承諾書が必要になります。時間帯規制をしますと、児童・生徒の安全は確保されますが、その規制道路を規制時間内に利用する場合は、藤岡警察署から通行許可証を取得することが必要となります。この通行許可証は、自宅がある場合に保有車両台数分この許可証が必要となり、車検、修理等で代車を使用する場合においても事前の許可証が必要となります。さらに、この許可証は、最長3年に一度の更新を義務づけられております。また、全員の承諾が得られ、時間帯規制が設置さ

れた後、不便なので解除願いたいと申し出並びに要望書が提出された場合の解除が、非常に難しくなります。このことを考慮し、地元区長及び地元住民と十分協議を重ね対応したい。現在時間帯規制が実施されている箇所は市内七ヶ所です。時間帯規制の許可されるまでの期間は、要望があつてから一般的には3ヶ月から1年ぐらいます。

### 鬼石プールについて

**問** 利用者数、現状のプールの課題、今後、プールをどうするか伺います。

**答** 利用者数は、平成18年度3010人、10年前の平成8年度は約1万人であった。課題は老朽化している故障が起きるかわからない状態、また、漏水があり、補給水を入れると水温が低下してしまふ。今後については、多額の改修費等を要するの、廃止を含めて検討してまいりたいと考えてます。



阿野 行男

### 障害者自立支援法 について

**問** 障害者自立支援法の施行状況について伺います。

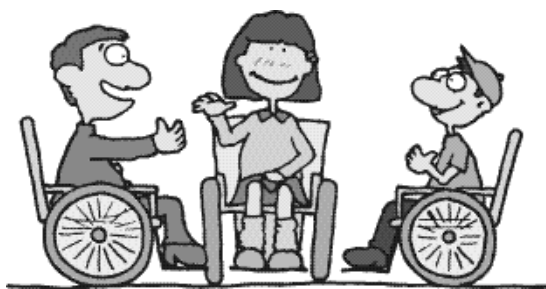
**答** 精神通院医療の申請374人を支給決定し、知的、身体、精神障害者で施設入所や通所サービスを利用して174人は、現状の利用状況や今後の希望等を相談しながらサービスの利用量と負担額を決定した。また、障害程度区分認定審査会を共同設置し、審査を実施、障害福祉サービス支給決定者は188人です。

**問** 受給者の人たちは負担増に苦しんでいる。藤岡市の現状について伺います。

**答** 所得の低い方には負担増にならないよう、配慮措置がある。1割負担では、月額0円から3万7200円までの4段階 施設入所者は単独収入で月収6万6000円以下の方は1割負担を無くし、食費等の負担のみになる。

**問** 障害者がもっと働ける社会の構築について伺いま

す。  
**答** 行政として、どんな支援ができるのか現在模索中。今後就労支援するボランティアを育成したり、企業、ハローワークなどとネットワークを構築して連携していきたい。



## 市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。傍聴希望者は、本会議の当日に、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ来て下さい。住所・氏名を傍聴人受付簿に記入し、番号札を持って入場します。

問い合わせは市議会事務局 (☎221211内線2361)へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(2月下旬公開予定)をご覧ください。



# 教務厚生常任委員会報告

私たちの委員会は12名で構成される。平成18年7月11日から7月13日の日程で北海道へ行政視察を行った。

## 【旭川市】

誰もが健康で安心して生涯を過ごせる長寿社会を築くため、保健、医療福祉分野の総合的施策の推進が必要である。旭川市の二つの施策を視察した。

**生涯支援ハウス運営事業**  
施設を退所した人や独居老人等生活に不安を抱える人の受皿として2施設を設置する。

**きらら(平成14年設置)**  
畑の中に建ち、デイサービス40人が合唱を楽しんでいた。2階がハウスで明るい個室は、台所とトイレ付きで入所一時

金は不要、毎月6万円の経費で収入に応じた入居費(年収120万円以下は0) 委託料1300万円で

は苦しいが、デイサービスでの職員の努力で補つ。福祉は人でもある。

**ファミリーサポートセンター 介護型(平成15年設置)**  
高齢者介護と女性の就業援助の相互援助組織で、市から社会福祉協議会へ380万円で委託。

労働者の仕事と家庭の両立を目指し簡易な介護をする。利用は平均1人当たり1~2時間、月々3回、1時間700円の料金と交通費等の実費は直接相手に支払い、仕事内容は

家事、買物、安否確認等で専門的介護はしない。提供会員と依頼会員は登録し、保険はセンターで一括加入。

依頼会員少なくニーズを掘り起こしたい。高齢者本人、未登録者にも依頼を認め、同じ人を頼めたら良い。藤岡市にも介護型のサポートセンターを望みたい。

**【富良野市】**  
どこでも給食費の滞納は大きい悩みである。また、残物処理についても先進地に学びたい。

**地場型学校給食と残物処理**  
平成11年一市一町一村で学校給食センターを立ち上げ、食材の40%以上を地元産でを目標に市場を通して買(米・カボチャ

は100%地元産)。片道85キロの遠方まで7台で配送(市が車賃)。給食費は99%支払う。調理力又は衛生センターで堆肥化する。

調理場はドライシステムで床面が乾燥していて上靴ばき使用で衛生的。藤岡市も長靴より上靴が良い。地産地消については、一定量の確保が難しく値段が一定せず一括購入と一長一短である。滞納が少ないのは都会でない為か、近隣都市は66%支払いとのこと。

**【千歳市】**  
藤岡市も鬼石と藤岡地区に二病院があり、地域医療と保健・福祉と一体になったサービスを提供しているが更なる充実を求めて視察した。

**市立千歳市民病院**  
専門性高く24時の2次救急医療体制の確立をは

かる。平成14年に新築移転。土地1万坪で10億円、全建設費107億円。産婦人科医が不足で病院会計3億円赤字の元。診療報酬変るのも収入減。待時間短縮が出来ない。毎年10億円近くを投入するが苦しい経営で累積赤字は12億円。

小児科と産科の医師不足、診療報酬問題、経営の苦しさ等藤岡市も同じ。ただ郊外に移った為交通が不便でバス路線を充実させたのは行届いていて、外来患者が藤岡市の7倍で見なりたい。

委員長 大戸敏子  
副委員長 串田武  
委員 石井竹則  
安田行男  
阿野廣志  
湯井千枝子  
齊藤啓太郎  
松本啓太郎  
櫻井一定男  
稲垣一秀  
片山喜博  
針谷賢一

# 議案等審議結果（12月定例会）

番 号	件 名	結 果
<b>市長提出議案</b>		
報告20号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報告
報告21号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報告
報告22号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	報告
第122号	藤岡市長等の給料の特例に関する条例の制定について	可決(多数)
第123号	藤岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決(多数)
第124号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第125号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第126号	藤岡市霊柩自動車利用条例の廃止について	可決(多数)
第127号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(多数)
第128号	藤岡市敬老祝金条例の一部改正について	可決(全員一致)
第129号	藤岡市在宅重度障害児手当支給条例の廃止について	可決(多数)
第130号	多野郡町村会館管理組合の解散について	可決(全員一致)
第131号	多野郡町村会館管理組合の解散に伴う財産処分について	可決(全員一致)
第132号	多野郡町村会館管理組合の解散に伴う事務の承継について	可決(全員一致)
第133号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	可決(全員一致)
第134号	多野藤岡医療事務市町村組合の規約変更に関する協議について	可決(全員一致)
第135号	群馬県後期高齢者医療広域連合の設立について	可決(多数)
第136号	藤岡市等公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について	可決(全員一致)
第137号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第138号	平成18年度藤岡市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
第139号	平成18年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第140号	平成18年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第141号	平成18年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第142号	平成18年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第143号	平成18年度藤岡市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(多数)
第144号	平成18年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
<b>議員提出議案</b>		
第4号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	否決(少数)
第6号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(多数)
第7号	飲酒運転撲滅に関する決議について	可決(全員一致)
<b>請 願</b>		
第5号	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願	不採択(少数)
第6号	国民健康保険税の値上げ中止を求める請願	不採択(少数)

委員長 湯 冬  
副委員長 岩 井  
委員 山崎 和  
委員 阿部 孝  
委員 永野 行  
委員 佐藤 千枝  
委員 坂本 幸三

新しい年を迎え、皆様にとってより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新生藤岡市とスタートして、1年が経過しました。議会と致しましては、均衡のとれた町づくりに邁進しております。本年は4月に統一地方選挙、そして夏には知事選、参議院議員選が行われ選挙の年になります。12月定例会においては、集中改革プランに関連する条例議案をはじめ、各議案の議決が行われました。また、2日間に行われ15名の議員が一般質問を行い、熱い議論が交わされました。編集委員会では、議会活動がよりわかりやすく身近に感じられるよう市議会だよりの一層の充実に努めてまいりたいと思っております。

